

市長と語る・・・活発な意見を交わしました

「いきいきタウントーク」報告



「いきいきタウントーク」は、市の主要施策や行政課題などを市民の皆さんに説明をし、皆さんと市長が市政について直接語り合うものです。開かれた市政運営と市民協働のまちづくりの推進を目的に、昨年10月、11月、市内6会場で開催しました。

7回目を迎えた今回は、「綾瀬市の防災を考へる」今回の震災を受けて私たちはどのように備えるべきか」をテーマに、175人が参加しました。

「いきいきタウントーク」では、震災後の市や被災地への対応状況について、市が進めている防災対策や今回の震災で見えてきた課題などについて説明をした後、参加者からはテーマに対して色々な意見や質問などが出され、市長と活発な意見を交わしました。質疑応答の主な概要は次のとおりです。

詳しい内容は、市ホームページや情報公開コーナーなどで見ることが出来ます。

今後も市民の生の声を聞く貴重な機会として、より多くの人が参加できるように、タウントークを充実させていきます。

意見や提案は、公共施設に備えてある「わたしの提案」や、市ホームページにある「わたしの提案」メール版でも受け付けています。

● 市民協働課 ☎70・5605

寺尾いずみ会館

問 AEDを大和市のようにコンビニに設置する考えはありますか。

答 現在は、そのような考えはもっていませんがコンビニの中には店舗において既にAEDを設置されているような状況があるかと思えます。調査したいと思えます。



問 避難場所に行っていない方たちの支援をどうしていくか、マニュアル化して対応してもらえますか。

答 市の防災計画の中では、避難所に来た方、避難所に来られなかった方に対しても、支援することになっているので実際の災害時にはしっかりやっていかなければならないと思えます。

早園地区センター

問 社協で始めているようですが、地域、地域で地域の危ない所や、要援護者のことを防災マップとして作成できませんか。

答 防災マップはありますが見直しをしなければなりません。地域で協同して、作成していただければと思っています。

問 小中学校の備蓄倉庫は、生活物資を中心に考え、自治会の各区の防災倉庫には、災害現場に必要な用具を地域に分けることを考えませんか。

答 食料については、防災倉庫には温度の関係で備蓄はできないため、市役所と消防庁舎に備蓄管理しています。地域の近くにとのことですが地域防災計画の見直しの中で、小中学校の空き教室に食料を備蓄するよう検討します。

南部ふれあい会館

問 一次避難所の綾南小学校、二次避難所の綾南地区センターは、洪水ハザードマップを見る限り、浸水してしまう危険性があります。見直しをしてもらえますか。

答 綾南小学校の避難所については問題があると感じています。防災計画の見直しと雨水の関係の計画もありますので併せて見直しを考えていきたいと思えます。

問 台風15号の時の避難所対応に疑問があります。市に連絡を入れましたがなかなか対応してもらえませんでした。一時的でも良いので早く避難できるような対策を考えてほしいです。

答 災害時には臨機応変に対応していくということも大切であると思えます。そのためには、きちんとしたマニュアルを持って準備をしていかなければならないと思えます。

中村地区センター

問 大震災では燃料不足の報道がありましたが、市では、公用車の燃料確保についてどのような対策をしていますか。

答 消防署には燃料タンクがあるので消防業務は問題ありません。ごみの収集車はタンクがあるので急場はしのげますが今回の震災では、消費者の買いだめにより不足したと言うこともあるので、啓発活動をしていかなければいけないと思えます。

問 連絡網ですが、スピーカーで役所からの放送がありますが聞き取れない方がいます。市役所だけに任すのではなく、我々も一緒に考えていかなければならないと思えます。

答 防災無線が聞こえづらいということだと思いますが、音量については職員も対応に苦慮しているところです。防災の時には音量を上げて良いという意見をもらえるとありがたいです。

北の台地区センター

問 蓼川地区の厚木基地内のゴルフ場は、平坦であり災害時にはテントでも張ったりすれば避難所として最適だと思いますが、市として基地と話し合いがなされていますか。

答 米軍とは防災協定の中で万が一の災害があった時の対応として、支援物資の協定を結んでいます。避難所としての協定は結んでいませんが緊急時にはお願いをしていきたいと思えます。

問 市の消防体制ですが、有事の時には大混乱が想定されます。自衛隊でも行っている予備役隊のような、消防経験者の組織を編成し消防経験者を活用するののも一つのアイデアだと思います。

答 良いアイデアだと思います。現在のところはそのような組織はありません。提案としてお聞きします。

吉岡地区センター

問 今年から防災リーダーの依頼を受けましたが災害時の実際の手順が分かりません。各自治会でも細かいマニュアルを作っていけたらと思うので作成に当たり力になってください。

答 市では施設のマニュアルはありますが、要援護者の支援マニュアルはありませんでした。しっかりと、皆さんのご意見を聞いた中で作っていききたいと思えます。

問 一時避難場所として、せせらぎ広場と堀之内公園が指定されていますが、目久尻川沿いの低地なので、もう一度見直してもらえますか。

答 現在、地域防災計画の見直しに着手しているところであり、一時避難場所についても見直す考えです。

